

## 「溶接技術コンクール」 坂口製作所の中西氏が最優秀賞に選出

アルミ・ステンレスの溶接・組立などを手掛ける坂口製作所(本社・大阪市西成区、社長・坂口清信氏)の従業員中西聖太郎氏が、このほど開催された第14回四国化工機「溶接技術コンクール」TIG溶接の部で最優秀賞に選出された。

氏は89.5点という高得点を獲得、総出場者68人の頂点に輝いた。同社従業員の田中寿和氏も39.4点を獲得し、優秀賞(2位)に入賞した。入賞は逃したが、同社従業員宇治田健辞氏も4位に入った。

坂口社長は「当社従業員が1位、2位を独占した形となり、大変喜んでいる。総合得点が39.0超えは、この2人だけだった。技術力は当社にとって生命線。これまでも数多くの賞を受賞しているが、これからも技術力に磨きをかけていきたい」と話す。

坂口製作所はアルミ・ステンレスに特化した、板金・溶接・組立加工を手掛ける。創業は1951年で、設立が86年。従業員数は82人。

和歌山工場はアルミ溶接で「軽金属溶接構造物製造工場M級」(軽金属溶接協会)の認定を受けている。生産品目は新幹線の部品、空港化学消防車用水槽、実験動物飼育ラック、食品・製薬工業用トレーなど。

ここ数年は、難燃性マグネシウム合金の溶接やクリーンフィスの製造にも注力している。

鉄鋼新聞 平成30年6月6日